

永渕ふみたか通信



佐賀市議会
自民政新会

第12号

令和元年10月21日発行
発行者/永渕 ふみたか



佐賀市9月定例会

9月定例会は9月2日に開会し、10月4日に閉会しました。決算9件、補正予算6件、条例7件、一般14件、人事1件の計37議案をすべて可決・認定・同意しました。今回の一般会計補正予算の総額は、約13億5,500万円で補正後の予算総額は約1,005億4,200万円となり、前年度同期に比べ0.7%の増となっています。

令和元年度9月補正予算 主な事業

● 幼児教育・保育無償化関連経費 5億1,544万円

● 令和元年10月からの幼児教育・保育無償化に要する経費

議員から提出された意見書案は2件が可決されました。

- 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書
- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書



一般質問 新学習指導要領にて起こる変化とは！

質問 ①新学習指導要領の準備状況と現場の課題とは？
②新学習指導要領の導入を教育委員会は重圧に感じてはいないか？
③新学習指導要領にて授業時間は増加するのか？
④ 授業時間の増加で夏休みの短縮は起こるのか？
⑤教職員の負担軽減の点で二学期制の導入の可能性は？

答弁 ①準備として小学校は英語指導力の研修、外国語指導助手の配置、中学校はプログラミング教育指導の研修や、授業用パソコン・ソフトの導入などを行っている。課題としては、(準備)時間が足りないこと、専科教員不足などがある。
②教師の勤務時間の上限に関するガイドラインをもとに現場状況を見れば、大変な重圧を感じている。
③小学三年生から六年生は三十五時間の増、中学校は増加しない。
④実施状況を見ながら、夏休みの短縮も視野に入れた検討が必要だと感じている。
⑤現状では、二学期制の(市全体での)導入は必要ないと判断している。

ここがポイント！

教職員をとりまく環境の問題点が指摘されている昨今、その負担軽減策が、近々の課題とされている現在の状況下で授業量の増加をとまなう新学習指導要領の導入というのが市の教育現場に与える影響がないのかを今回質問致しました。特に今回確認したかったのは、夏休みの短縮と二学期制の導入の可能性についてです。他自治体において、八月末に二学期の始業式をおこなっている学校が増えてきています。その大きな理由が新学習指導要領にて増加する授業時間の確保のための対策のようでした。市の小中学校の夏休みの短縮に関しては、学校現場への空調設備環境が整った現状において、近い未来に市民の皆様にお諮りする場面があるのかもしれないと教育長の答弁より私は感じました。さて、教職員の負担軽減策として、もう一つ抜本的改革として浮かぶのが、二学期制の導入です。二学期制の利点というのは、終業式と始業式が少ない分だけ授業時間を確保できて、通知表の作成回数などが減り、教職員の負担軽減につながる点です。私は子どもたちと接する時間を教職員の方にはもっと増やしていただきたいと考えていまして、新学習指導要領によって授業時間増加などが起こり、教職員の事務などを含む負担が拡大するのであれば二学期制のような思い切った発想の転換もあって良いのではないかと考えています。答弁にて、早急な(市全体での)導入の考えはないとのことでしたが、※成績二学期制の導入を独自におこなっている学校が市内にも数校あることが質問を通してわかりました。市の子どものための、より良い教育環境のため、またそれを支える教職員の職場環境の改善のために市教育委員会には今後も積極的に取り組んでいただくことを望みます。



質問する私と、それに対して答弁をする市教育長

一般質問 市道三溝線再整備について

質問 アートベンチを制作して、市道三溝線を歩かせる仕掛けにしてみてもどうか？

答弁 この道(三溝線)を歩きたいと思ってもらうことが大事であると考えています。これからの三溝線には様々な工夫、仕掛けが必要で、そういう意味で、先事例などを研究しているのですが、休憩ベンチは必須アイテムではないかと感じています。今後は、三溝線の検討委員会や、市民とのワークショップを通じて、提案のアートベンチも含めて仕掛け作りに関して考えていきたいと思えます。

ここがポイント！ 国土交通省が募集をしていた※ウォークラブル推進都市への応募からも、市道三溝線での歩かせる仕掛けづくりに対して、市の意欲を感じとることができるわけですが、高齢者の日常生活での歩行可能距離について調査してみると、自宅から駅やバス停など近所まで歩ける許容距離を5分間までとする高齢者は20%なのだそう。その意味からも三溝線における休憩スポットとなるベンチの役割は重要であると思えます。一般質問にて市に今回私が提案したのが、ベンチに高齢者を中心とする市民の憩いの場所としての役割と観光客の鑑賞物としての役割の両方を担ってもらうアートベンチの設置です。例えばですが、現代芸術家にアート作品として実用性を条件にアートベンチを創作していただくとか、またアートベンチに QRコードを埋め込んで、スマートフォンをかざせば、佐賀市の観光情報が動画で流れ出すなどの仕掛けの設置。ほかにもアートベンチのデザインコンペを開催し、佐賀市民芸術祭との連携を計るなど、様々な歩かせる仕掛けづくりが出来るのではないかと考えています。将来的には、佐賀駅でアートベンチマップを配って鑑賞散歩ウォークラリーなども良いでしょう。アートベンチを眺め楽しむ観光客と憩いを求めてベンチに座っていた高齢者との会話が弾むなんてことも起こるかもしれません。副市長は答弁にて、今回の提案を含む三溝線の仕掛け作りをしっかりと考えていこうとする姿勢を見せてくれました。これからも三溝線の再整備に関しては市議会にて質問を続け、歩きたくなる仕掛けづくりとは何かを引き続き考えていきます。



答弁する副市長



塗装アートベンチ (参考資料)



造形アートベンチ (参考資料)

※ 居心地が良く歩きたくなる まちなかをつくることを目指す都市のこと

編集後記

去る8月27日～28日に、佐賀市は、またしても大雨被害に見舞われました。9月30日には経済産業委員会の委員として被害が甚大であった金立町に現地調査に赴きました。金立町では約750戸が断水となりましたが、佐賀市上下水道局および工事関係者の8月29日から30日にかけての作業努力で約480mの配水管接続を1日で終了し断水は解除されました「自助」「共助」「公助」災害時の対応はどれか一つだけあれば良いという訳ではなく、この全てが大切であると言われています。その意味でも「公助」としての役割をしっかりと果たした今回の上下水道局のように私も「自助」と「共助」の部分での市民としての役割をこれからもしっかりと果たしていきます。



大雨災害現地視察 写真



校区においては9月9日に自主防災組織が設立されました。10月10日 新聞記事

永渕ふみたか

〒849-0928 佐賀県佐賀市若楠 3 丁目 3-23
TEL.0952-38-2323
FAX.0952-33-5176

インターネットで「永渕ふみたか」と検索!!
 活動の日々をブログにて発信しています。

お気軽に
 ご相談ください。



プロフィール

- 昭和51年8月19日生まれ(43歳)
- 佐賀北高等学校卒(30期)
- 平成29年10月佐賀市議選挙当選(2期目)
- 議会運営委員会 所属
- 佐賀市議会 自民党 自民政新会所属
- 経済産業委員会(副委員長) 所属
- 議会広報広聴委員会 所属
- 市民総参加子ども育成運動推進本部委員
- 若楠校区子ども育成部会 部会長
- 若楠校区子ども会会長
- 若楠校区地域子ども教室会長

『永渕ふみたかホームページ』もご覧ください。

↑ <http://nagafuchi-fumitaka.com/>

↑ <https://www.facebook.com/nagafuchifumitaka/>

表面もご覧ください。